

3 接種までの流れ

▶ 接種券が届く

長岡市に住民登録をしている12歳から64歳までの人^{*}に、接種券や予診票が入った封筒（右）を郵送しています。

※昭和32年4月2日から平成21年6月28日までに生まれた人

- 原則として、住民票がある市区町村（住所地）で接種を受けます
- ・住所地以外の医療機関や施設に入院・入所中の人や、基礎疾患で治療中の医療機関での接種を希望する人
 - ▶各医療機関や施設に相談してください
- ・長岡市に住み住民票がない人は、接種をする前に届け出が必要になる場合があります
 - ▶市ホームページで確認するか、新型コロナウイルスワクチン接種事業室にお問い合わせください



▶ 予約する

事前確認を！

- 麻しん・風しん混合ワクチンなど、他のワクチンを2週間以内に接種した人は、新型コロナウイルスのワクチンは接種できません。2週間経過後の日程で予約してください
- ファイザー社製のワクチンは満12歳以上、モデルナ社製のワクチンは満18歳以上の人が接種の対象です。市の集団接種ではファイザー社製を使用しています。県が実施する大規模接種では、モデルナ社製を使用します

集団接種 会場と日程は6・7ページへ

1回目の予約時に2回目も自動的に予約されます。

個別接種

個別接種を希望する人は接種券が届き次第、かかりつけ医に相談・予約し、接種を受けてください。接種できる医療機関は市政日より8月号、市ホームページでお知らせします。

▶ 1回目の接種を受ける

接種時に必要なもの

- 接種券（シールは剥がさず、台紙ごと持参）
 - 身分証明書類（マイナンバーカードや運転免許証、健康保険証など）
 - 予診票1枚（接種券の封筒に2枚同封。事前に記入し1枚を持参）
- ※当日は、肩を出しやすい服装で来てください

▶ 2回目の接種を受ける

ワクチンの効果を十分に得るために、約3週間の間隔を空けて、同じワクチンを2回受ける必要があります。



▲接種券



▲予診票

接種区分 ②・③ 優先接種者

国が定める優先接種者は、基礎疾患のある人と高齢者施設などの従事者です。さらに市は、ワクチンを接種できない子どもたちと触れ合う保育士や小・中学校の教職員、重症化のリスクが高い高齢者と接する民生委員などへの接種を優先します。

▶ 市独自の優先接種の主な対象者

- 子育て支援** 保育士、児童発達支援事業所の職員
- 教育** 小・中学校・総合支援学校の教職員
- 福祉** 民生委員、障害福祉サービス事業所の職員、生活保護のケースワーカー
- 危機管理** 市幹部職員、市の危機管理担当職員

- インフラ** バス・タクシーの運転手、浄水場・下水処理場・廃棄物処理施設の職員
- 市民生活** 市役所の窓口職員、スポーツ指導員
- 大学・高専** 4大学1高専の学生・教職員
- 商工・観光** 飲食店・小売店・ホテル・旅館の従業員



さいわいプラザでの集団接種

接種区分 ④ 一般の人（接種区分①～③以外の人）

集団接種の予約の受付開始日は、年齢層で異なります。 [2ページへ](#)

本人の同意を得て接種します

感染症予防の効果と副反応のリスクを理解した上で、自らの意思で接種を受けることができます。現在、病気で治療中の人や接種に不安がある人は、かかりつけ医を受診する際に相談し、接種を受けるかどうかを決めてください。

★12歳～15歳の子の接種は、予診票に保護者の署名を
12歳～15歳の子に接種させる場合は、予診票に保護者の氏名を記入してください。子どものワクチン接種の注意点は、接種券に同封の「新型コロナウイルスワクチン予防接種についての説明書（ファイザー社ワクチン用）」をご覧ください。

ワクチンの有効性は95%

ワクチンは2回接種することで、95%の有効性で発症（発熱やせきなどの症状）や重症化を防ぐことが確認されています。なお、インフルエンザワクチンの有効性は約40%～60%です。

多くの人がワクチンを接種することで、重症者や死亡者が減り、医療機関の負担軽減につながります。接種率が70%ほどまで上がれば、感染が自然収束する集団免疫の効果が期待できます。



接種後の副反応

接種後は、高い確率で接種部位の痛みやだるさ、発熱などの副反応が発生します。ほとんどは3日以内に回復します。すぐに医療機関に電話することは控え、ゆっくりと休んでください。

極めてまれに、ワクチンの成分に対する急性アレルギーであるアナフィラキシーが発生することがあります。万が一、アナフィラキシーが発生した場合、接種会場や医療機関で医療従事者が必要な対応を行います。

新型コロナウイルスワクチンの接種によって健康被害が生じた場合、予防接種法に基づく救済制度があります。